

2020年度 専門学校ESPエンタテインメント東京
学校関係者評価 報告書

評価対象期間 自：2020年4月 1日
至：2021年3月31日

2021年3月

学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員名簿

学校関係者評価委員として、卒業生、関係業界、関係団体、本校と直接接続する学校、在校生保護者、地域（近隣）企業に委嘱した。

本学園総務部長		野永 幸恵	
音楽アーティスト科	音楽プロデューサー	柘植 敏道 様	
音楽芸能スタッフ科	株式会社サンフォニックス	皆川 直和 様	
楽器 技術科	ギタークラフト科2年制	株式会社イー・エス・ピー	南 慎一郎 様
	管楽器リペア科	合同会社 Klang 横澤管楽器工房	横澤 良洋 様
	ピアノ調律科	一般社団法人ピアノ調律師協会	鈴木 均 様
高校、日本語学校等	新宿日本語学校	加藤 有佳子 様	
近隣商工会、町内会、企業等	株式会社竹宝商会	佐渡 文浩 様	
学園卒業生	株式会社イー・エス・ピー	芦浦 健太郎 様	
在校生保護者		長谷川 景子 様	

学校関係者評価委員会の実施状況

学校関係者評価委員会実施日時・場所

日時：2021年3月16日（火） 14:00 から

場所：専門学校ESPエンタテインメント東京 本館2階2-2

評価方法

学校関係者評価委員の方々に、学校関係者評価の概要や私立専門学校等評価研究機構が策定した学校評価基準 Ver.4.0（専門学校における学校評価ガイドラインに準拠）の評価項目および学校自己評価報告書を事前にお示しし、2020年度学校自己評価報告書の項目に沿って評価シートを作成し、評価シートへご記入いただく形式でご質問、ご意見をいただいた。

報告書

いただいたご意見等を副校長以下職員で組織する学校評価委員会で承り、要旨を本報告書にとりまとめた。

学校関係者評価委員会 進行状況

開始 14:00～

- ① 開会・資料確認
- ② 委員長あいさつ
- ③ 出席教職員の紹介
- ④ 評価委員の紹介
- ⑤ 自己評価報告書についての説明
- ⑥ ⑤について不明点など質疑
- ⑦ 評価シート記入
- ⑧ 次回開催の確認
- ⑨ 閉会

今後の取り組み

ご意見は、次年度以降の教育計画、教育課程編成、事業計画、施設・設備計画などを立案する際、十分に考慮し、可能な項目より実現に向けて取り組む。また、学校評価事業は毎年度、継続していく。

点検項目

大項目	I 教育理念・目的・育成人材像	
自己評価に対する評価	適切…9/9	不適切…0/9
中項目	1-1. 理念・目的・育成人材像	

ご意見

- ・中長期計画を周知徹底し、実行してほしい。
- ・ギタークラフト科、管楽器リペア科、ピアノ調律科と明確になったことは良かった。
- ・教育の理念が明確で信頼性が高い。
- ・育成人材像が明確化されており、分かり易いです。
- ・育成人材像にかかげられている、3つの目標に向かって、全力を注いでください。

大項目	II 学校運営	
自己評価に対する評価	適切…9/9	不適切…0/9
中項目	2-2. 運営方針 2-3. 事業計画 2-4. 運営組織 2-5. 人事・給与制度 2-6. 意思決定システム 2-7. 情報システム	

ご意見

- ・緊急事態宣言下において難しい運営が求められる中、有事に対しての備えがなされている印象です。
- ・適切だと思います。
- ・今回のコロナの影響で、オンライン授業、動画配信を導入するきっかけが作れたと思います。解決後も、これらを併用すれば今以上に密度の濃い授業ができることを期待している。
- ・技術系スタッフは卒業生が多く、経験がないので教える立場として不安を感じる。
- ・色々なところでコロナの影響を受け、カリキュラムの変更やイベントの中止を余儀なくされた大変な一年であったと推測します。
- ・2021年は教育理念に基づいた、本来の運営ができることを願っています。
- ・各種規定の整備等、計画的に取り込まれているように見受けられました。

大項目	Ⅲ 教育活動	
自己評価に対する評価	適切…8/9	不適切…1/9
中項目	3-8. 目標設定 3-9. 教育方法・評価等 3-10. 成績評価・単位認定 3-11. 資格・免許の取得の指導体制 3-12. 教員・教員組織	

ご意見

- ・ウィズ・コロナ、ポスト・コロナに於いての教育方法となる、オンライン授業と対面授業の今後の進め方は重要になると感じます。
- ・授業評価、アンケートは貴重なデータとして役立つのではないかと思います。
- ・リモート、オンラインでの授業の活用、準備、充実をお願いします。
- ・コロナ禍で活動制限が多いことが推察できますが、満足度の高い内容を構築する姿勢が伺えます。
- ・卒業生に満足度を測るアンケートを実施しているとのことですが、入学時にもアンケートを実施して、入学から卒業までの満足度等の推移を調べられれば、面白いあるいは何かしらのヒントにつながるのではないのでしょうか。
- ・教育課程編成委員会がコロナで開かれなかったのが残念でした。しかし、個別に意見の聞き取りが行われ、それに対し素早い対応をしていただいたことに、学校側の思いを強く感じることができました。このような取り組みを継続し、教育活動のさらなる向上を目指してください。
- ・ニーズに合わせてとよく出てきているが、教えている内容は数年前から変わっていないので大幅な見直しが必要なのではと思う。スタッフが卒業生で構成されているので、習った事しか教えられないマニュアル通りの内容になっている。このままでは、ニーズに対応するのは難しいと思う。
- ・講師によって作業手順がちがうので、人数は増やさず（色々な教え方があると生徒も混乱するし、講師がいないときのスタッフも戸惑う）講師も交えて手順確認のミーティングが必要。

大項目	IV 学習成果	
自己評価に対する評価	適切…9/9	不適切…0/9
中項目	4-13. 就職率 4-14. 資格・免許の取得率 4-15. 卒業生の社会的評価	

ご意見

- ・様々な対策が練られている印象です。
- ・リモートでのオーディション（セッション等）など実施していただければと思います。
- ・本年度はイベントがないことが大変残念だった。昨年度はイベントを経て成長するところが多く見られたので、今年度はその様子を見る手立てもなく残念だった。
- ・新型コロナウイルスの影響でエンタテインメント業界は厳しくなっていると思いますが、学生があきらめずに就職できるようにと願っています。

ご質問

- ・取得可能な資格のうち、取得の難易度が高いものもあり、授業内容で取得が可能なように、教育課程の編成、講師の採用等、教育環境の充実を図るとありますが、具体的な変更等はあったのでしょうか？

→本校における取得難易度の高い資格として、ピアノ調律技能士検定がございます。

1級ピアノ調律技能士を講師として採用し、実技試験に対応する科目を担当していただく事とし、教育の質の向上を図っております。

また、試験内容に関わらない作業の短縮等、試験対策向きの教育課程へ編成しました。

更に、STEINWAY & SONS を購入し、本校では、世界3大ピアノの内、2台を保有することとなり、学生の学習のモチベーション維持・向上や、良い音を普段から聞くことによる音感の向上等、図っております。

大項目	V 学生支援	
自己評価に対する評価	適切…9/9	不適切…0/9
中項目	5-16. 就職等進路 5-17. 中途退学への対応 5-18. 学生相談 5-19. 学生生活 5-20. 保護者との連携 5-21. 卒業生・社会人	

ご意見

- ・BIGBOSSに留学生がよく来店してくれています。音楽に対して意欲のある方が多く見受けられるので良いサポートをしていただければと思います。
- ・各サポートセクションと卒業後も関係を保つことによって安心感が継続できる経済面でのサポートも図られている。
- ・学生への支援がとても手厚いと感じました。
- ・一般に公表されていない独自の就職情報が多数あるというのは強みだと思います。
- ・保護者との連携で、あくまで個別の学生の諸問題に対して行われるべきと総括されていますが、成績発送などの際、保護者の方へできるだけ詳細な報告ができるような、管理システムを構築してください。
- ・学生を支援していく上で保護者との連携は欠かせないと思う。
- ・月毎の出席率を保護者に通知するなど、日々の変化等を家庭内でも話し合えるきっかけが必要。全員ではないが、地方から出てきて生活習慣が乱れている生徒がみられる。そういう所から保護者と連携して家庭側と学校側、両方から支援できたらいいと思う。
- ・保護者との連携で、あくまで個別の学生の諸問題に対して行われるべきと総括されていますが、成績発送などの際、保護者の方へできるだけ詳細な報告ができるような管理システムを構築してください。

大項目	VI 教育環境	
自己評価に対する評価	適切…9/9	不適切…0/9
中項目	6-22. 施設・設備等 6-23. 学外実習・インターンシップ等 6-24 防災・安全管理	

ご意見

- ・感染症対策、防火対策ともに十分な対応がとられている。
- ・不審者の侵入（校舎・教室等）の対応をお願いします。
- ・最新、高性能な機材を整備するなど、学生にとって常に環境が整っていて、学ぶ意欲の向上につながると感じました。
- ・カリキュラム的に大変かもしれないが、学外自習、工場見学は多い方が良い。目標を持って入学してきているが、授業が進むにつれて、理想と現実の違いに苦しむ学生が多い気がします。企業を見学することによって、再度目的意識や業界内での進む道を明確化してほしい。

大項目	VII 学生の募集と受入れ	
自己評価に対する評価	適切…9/9	不適切…0/9
中項目	7-25. 学生募集活動 7-26. 入学選考 7-27. 学納金	

ご意見

- ・学納金について、コロナの影響で行えなかったイベントの代わりにどのようなお金の使い方がされたのか、保護者へ説明が欲しい。他大学では返金された学校もあった。
- ・SNS等での募集など充実させてください。
- ・各ガイダンスの中止は非常に痛手の印象を受けます。パンフレット・ホームページで対策が図られている。
- ・学生募集に関して、留学生に関しての記載がありませんでしたが、当校での学校説明会や、サマーコースでの体験授業などでお世話になっております。
- ・コロナ禍で、これからもオープンキャンパスへの参加減少が考えられます。あらためて、ホームページでの募集要項の充実を図ることが肝要です。
- ・出張メンテナンスやリペア等は、その学校に出入りしている業者がいるので、その業者としっかり連携をした上で実施するのは問題ないと思う。学校と業者間の金銭関係や信頼関係等考えることも必要。

大項目	Ⅷ 財務	
自己評価に対する評価	適切…9/9	不適切…0/9
中項目	8-28. 財務基盤 8-29. 予算・収支計画 8-30. 監査 8-31. 財務情報の公開	

ご意見

- ・設備投資の中長期計画によって少子化対策も行われている。
- ・学生の時から学費が安いと思っていました。
- ・新型コロナウイルスの影響で、見通しが立たないのは致し方ないと思います。

大項目	Ⅸ 法令等の遵守	
自己評価に対する評価	適切…9/9	不適切…0/9
中項目	9-32. 関係法令、設置基準等の遵守 9-33. 個人情報保護 9-34. 学校評価 9-35. 教育所法の公開	

ご意見

- ・多岐に渡って遵守への高い意識を感じます。

大項目	X 社会貢献・地域貢献	
自己評価に対する評価	適切…8/9	不適切…1/9
中項目	10-36. 社会貢献・地域貢献 10-37. ボランティア活動	

ご意見

- ・コロナ禍での制限で今年度は難しい印象。本来の活動ができなかった事は理解できます。
- ・コロナが落ち着いたら再開していただければと思います。
- ・社会貢献、地域貢献はコロナが落ち着いたら、是非復活させてください・
- ・当該学校の従来お付き合いのある業者があるはずなので、学校、業者間の関係には気を配るべきである。
- ・コロナ収束の折には、今まで同様小さなことでも良いので、社会地域貢献の活動を続けてください。
- ・地域貢献などの機会がないとできないことも多いので、学生にとってはいい経験になると思います。

他ご意見

- ・本年度はコロナ対応で大変だと思いますが、引き続き頑張って運営をしていただければと思います。

ご質問

・新型コロナウイルスの影響により授業が、予定されていたカリキュラムよりかなりの遅れが出たと思われませんが、どのように対応しましたか？

→緊急事態宣言等により 2 カ月間授業ができない期間もありましたが、土日、祝日の授業や夏休み、冬休みの短縮により、決められている単位分の授業を補いました。

・オンライン授業は来年度も継続しておこなうのでしょうか？また、どういった授業をオンライン授業でおこなうのですか？

→基本的には講義科目の授業をオンライン授業で行います。また、演習授業はオンラインで視聴し、その後レポートを提出することにより評価を付けました。

・学生のネット環境の違いなどによって、オンライン授業での問題はありましたか？

→オンライン授業に参加するのが難しい学生の為に、iPad の貸し出しを用意していましたが、貸し出しをすることもなく、特に問題は無かったようです。

・新型コロナウイルスの感染者学生が発生したときに、授業が一緒であった学生が濃厚接触者となり、2 週間の外出禁止の対応となりましたが、その後授業に参加しても濃厚接触者とならないような対策はされたのでしょうか？

→もともと濃厚接触者とならないよう対策はされていたのですが、保健所による査察が当初されておらず、初期の感染者発生時に関しては保健所より濃厚接触者と認定されてしまいました。その後、保健所より査察を受け、感染対策を十分行っていると認定を受け、現在は感染者が出た時に同じ授業に参加していたとしても、濃厚接触者の認定は受けない状態となっています。

総括

様々なご意見をいただきましたが、現段階では緊急で対処しなければならない重大な欠陥はないように見受けられ、差し当たって問題はないと認識しております。

しかし、本年度は新型コロナウイルスの影響もあり、通年通りとはいかず、予定の変更や修正等を繰り返しており、急速な変化に対応しきれていない部分もあることは否めません。今回いただいたご意見を参考にさせていただきながら、今後も学生にとってより授業が受けられるよう環境整備に精進してまいります。

また、業界関係者の皆様のご意見には、コロナ禍によってイベント等の課外活動が中止となり、実際の業界を学ぶ機会が減ってしまったことへの不安視や、学生を支援していくためにも保護者との連携は密にした方が良いなどの貴重なご意見があり、今後の課題としてあげていきたいと思っております。

さらに、今回の学校関係者評価委員会では初めて、オンラインでのご参加もいただき、音量の調節等、準備不足な部分もございましたので、次回に向けてしっかりと改善してまいりたいと思っております。

皆様から頂いた、大変な状況であることを踏まえた理解あるお言葉に対して、今後もそのお言葉に甘えることなく継続させる努力を続け、今回あげられた課題に関しましては、今後の運営、教育活動等にしっかりとフィードバックし、教職員一同取り組んでいく所存です。

ESP エンタテインメント東京がより良い学園と成長するために、今後とも様々なご意見いただければ幸いです。

何卒、よろしくご意見申し上げます。

以上



学校法人イーエスピー学園

ESPエンタテインメント東京

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-3-19